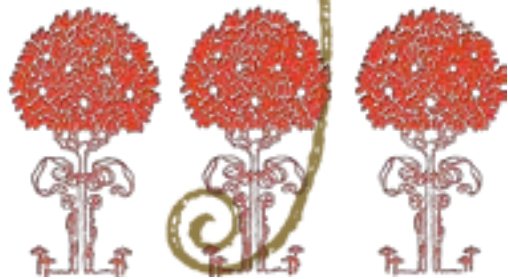


1900



New Design for a New Way of Life



①



②



③



④

版画復興と グラフィック の刷新

The Prints Revival and
Innovation of Graphic Arts



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

新しい生活 Towards a New Way of Life

グラフィックにおける

新たな試みは、当時盛

んに刊行された美術雑誌

や挿画入り雑誌だけではなく、

様々な媒体を通して人々の生活へ

と浸透していきました。日々新しいグラ

フィック・デザインに触れること、それは生活に

おける新たな意識を生み出すことにも繋がりました。

本章では、ポスターやカレンダー、蔵書票と

いった日常生活に関わるグラフィック

の新たなデザイン、そしてグ

ラフィックの刷新を担った人々が

てがけた書籍の装丁や挿画

の魅力を紹介します。

サクルム：オーストリア

造形芸術家協会機関誌

①「ヴェル」

②「ヴェル」

③「ヴェル」

④「ヴェル」

⑤「ヴェル」

⑥「ヴェル」

⑦「ヴェル」

⑧「ヴェル」

⑨「ヴェル」

⑩「ヴェル」

⑪「ヴェル」

⑫「ヴェル」

⑬「ヴェル」

⑭「ヴェル」

⑮「ヴェル」

⑯「ヴェル」



分離派のバー、第14回展覧会に際し撮影（左から）アントン・スタウルク、グスタフ・クリム
ト椅子に座る「ロマン・モリッツ」をかける「アドルフ・ヘム・マキシミリア
ン・レンツ」横になる「エルンスト・シニール・ハット」をかける「ウィルヘルム・リス
ト・エミール・オリク」座る「マキシミリアン・クルツ・ワイル・キヤブ」をかける「レオ
ポルト・シュトルバル・カル・モル」横になる「ルドルフ・ツッパ」モリッツ・ネット撮影

19世紀における写真の発明は、それまで視覚情報の複製や記録とい
った役割を担ってきた版画の存在意義を大きく揺るがし、
芸術としての版画への模索という動きを生み出しました。
その際に積極的に参照されたのが、当時西欧で大きなブー
ムとなっていた日本の多色木版画です。作品として制作され
た版画は、絵画に比して廉価ということもあり、広く人々の
生活色彩にすることができました。本章では、木版画やリトグラフな
ど多様な版画手法における新たな試み、そしてその試行錯誤
がうかがえる素描の魅力を紹介します。



⑬

⑬ 1900年頃、オーストリア・ウィーン市舞踏会、1809年の開催日を
記念して1900年（画）「レミギウス・ガリグ」⑭「キャバレー
（フリーダム）」上演本（表紙第1号）「カル・
オットー・チェシカ、第2号」モリッツ・ユンク
⑮ フランツ・フォン・ツェーローウ（自刊）1907年
3月版⑯ ルキアノスの遊女の対話（表紙デザイン）
グスタフ・クリムト、ヨーゼフ・ホフマン、装丁・ウィーン工房
1907年 * 所蔵の記載のないものはすべて京都国立近代美術館蔵



⑬

いた多彩な図
では、人々を
いそのデザ
士芸学校、
。yui



ウィーン総合美術展
「アンストロフ」での
ベルトルト・レフラー
によるポスター「展示風景」
1908年